

TINDERアプリ内の報告機能がリニューアル

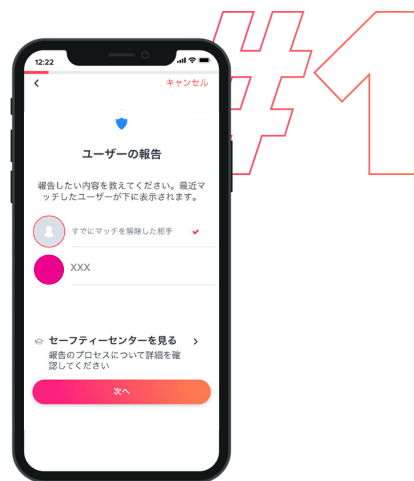
より多くの選択肢、情報、サポートを
TINDERメンバーに提供可能になりました

Tinderの違反報告プロセスが新しくなりました。変更には、米国最大規模の非営利の反性的暴行組織である「RAINN」からのアドバイスが盛り込まれ、サバイバー*が次に取るべき対応を主体的に決められるようにするTinderの取り組みが反映されています。サバイバーは、すぐに運営へ報告をする、マッチを解除して後で報告する、Tinderのサポートリソースのネットワークにアクセスするといった対応が取れるようになっています。

*ここでいうサバイバーとは、性的被害を受け、心にトラウマを抱えた全ての人を指します。彼らは被害者ですが、それを乗り越えようと積極的に努力する勇敢な人々です。

マッチ解除と報告をより簡単に

RAINNによれば、同意に反するような行為をしてきた相手（以降攻撃者と呼称）がTinderの自身のマッチリスト上に表示され続けることが引き金となって、メンバーの体験が心的外傷（トラウマ）になりうると言います。そこでTinderは、メンバーが攻撃者とのマッチを解除したあとでも、アプリから相手のプロフィールを通報できるように報告システムを改善しました。攻撃者は、被害者に報告させないよう、早急にマッチを解除してしまう可能性があります。一方でサバイバーは、起きたことをすぐに報告しないケースが多いことから、攻撃者とマッチを解除した後も心の準備ができたらずちに、そして簡単に報告できるシステムづくりが非常に重要です。私たちが、アプリからより直接的に報告できる機能を新たに作成したのはそのためであり、Tinderを利用する全てのメンバーに、「たとえマッチを解除しても相手に責任を問えること」を覚えておいてもらいたいと考えています。



#2

メンバーの身体的安全を確認

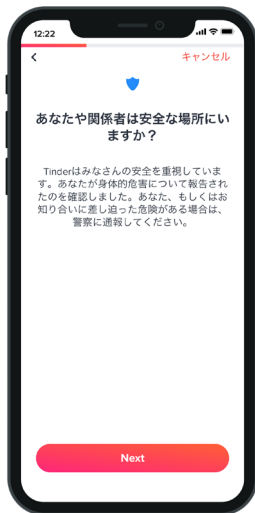
Tinderは、メンバーの身体的安全について尋ね、必要であれば警察に連絡するよう促す画面を新しく導入しました。

Tinderがすばやく対応できるように 詳細を確認

性的暴行の報告件数が実際よりもはるかに少ない理由の1つに、報告しても何も対応してもらえないのではないかと、という恐怖があります。そこでTinderでは、必要最小限のフォローアップですばやく適切なアクションを取れるように、個々の画像やメッセージを報告できるオプションを追加し、自由に回答を記述できるスペースを広げました。

#3





#4

報告プロセスの透明性を向上

報告は勇気がいることです。Tinderはサバイバーの報告を後押しするため、報告を完了するまでに、あとどのくらいの時間と情報が必要かがわかる進捗バーを新たに追加しました。トップの画面にはセーフティーセンターへのリンクも表示され、報告がTinderでどのように機能し、送信するとどのように処理されるかについて知ることができます。

#5

最終確認画面の追加

Tinderの報告は、以前は2回のボタン押下で完了するプロセスでした。そのためメンバーは報告する相手や内容が間違っていないかと不安を覚えることや、情報を付け加えたくてもできないことがありました。新しい確認画面では、情報を追加したり、内容に間違いがないかを確認してから送信したりできるようになっています。



#6

受け取る情報をメンバー自身が選択

報告の最後のステップは、報告によって取られたアクションについて、その後の情報を受け取ることです。このような情報の提供はこれまで一貫していませんでしたが、今回のアップデートにより、最終的な情報を受け取るかどうか、メンバー自身が選択できるようになります。情報を受け取ることでトラウマが深まると感じる場合は、受け取らない選択をすることもできます。機能の改善後は、詳細情報を希望するメンバーにメンバーサポートチームが返信し、Tinderが個々の報告に対して取ったアクションについてより詳しくお知らせします。

